

次期九州観光戦略骨子(案)～観光産業を九州の基幹産業とする10年間へ向けて～

2013.5.21九州地域戦略会議

次期戦略期間の位置付け

これまでの10年間は
「はじめて九州が一体で観光に取り組んだ10年」、
 次期戦略期間は交流人口を拡大し、経済・雇用を活性化するため
「観光産業を九州の基幹産業とする10年」

次期九州観光戦略の中間(2016年)と10年後(2023年)の目標

	2010年 (国)	2010年 (九州)	2016年 (国目標)	2016年 (九州目標) 国並みの伸び	2016年 (九州目標) 国以上の伸び 目標	2023年目標 (九州目標)
訪日外国人	1.3兆円	961億円	3兆円	2,142億円	2,301億円	6,406億円
国内宿泊	16.1兆円	16,027億円	18兆円	17,964億円	19,191億円	21,555億円
国内日帰り	5.1兆円	3,989億円	6.5兆円	5,106億円	5,564億円	6,574億円
観光消費計	22.5兆円	2.1兆円	27.5兆円	2.5兆円	2.7兆円	3.5兆円
経済波及効果	49.4兆円	3.3兆円	—	3.9兆円	4.2兆円	5.4兆円
雇用効果	424万人	27.9万人	—	33.6万人	36.1万人	46.6万人
訪日外国人数	—	100.1万人	—	—	188.7万人	440.6万人
延べ宿泊者数	—	3,653万人泊	—	—	4,566万人泊	6,510万人泊

次期戦略骨子

行政・民間・経済団体・推進組織 が連携して行う戦略	主に推進組織が担う戦略
戦略Ⅰ 九州ブランドイメージ 1 九州がはっきりと思い浮かぶ イメージづくり 2 SNS・HP等web・ITを活用し 様々なチャネルを通じた 国別のイメージ浸透策 戦略Ⅱ 観光インフラの整備 1 ハード・ソフトのインフラ 整備実現に向けた活動 (LCC誘致、CIQ迅速化) 2 規制緩和・制度改定 (中国人ビザ、特区ガイド) 3 観光人材育成・ホスピタ リティの強化 (地域観光ボランティア) 4 各地の観光資源の魅力向上 (景観づくり、6次産業化)	戦略Ⅲ 九州への来訪促進 1 海外インバウンド誘客 (国別・都市別・マーケット別) 2 国内誘客 (マーケット別、テーマ別) 3 国内・海外誘客共通 (・対象市場の明確化、 市場把握・分析及び戦略構築 ・運輸、旅行事業者等との協力 ・広報戦略確立、メディア活用) 戦略Ⅳ 来訪者の滞在・消費促進 1 広域観光ルートの周遊環境整備 (特区ガイド、二次交通) 2 通過型から宿泊・滞在型へ (地域イベント・夜のイベントの商品 化、ナイトメニューの開発) ※web・ITを活用し国内外へ戦略Ⅲ・Ⅳ 情報を発信・浸透

推進体制のあり方

戦略を強力に推進する組織

- 1 訪日インバウンド拡大に向け、ガバナンスを強化し、事業・予算・要員・パワーをより傾斜注力する体制の構築
- 2 海外における取引の信用度、リスク管理、内部統制の強化
- 3 官民一体となって財源・人員を拠出し、事業を活発に企画・推進
- 4 海外関係諸機関との人的ネットワークの構築、組織内への継続的なノウハウの蓄積を可能とする専門性を持った人材(スペシャリスト)の投入
- 5 派遣元(出向元)へよりよい人材協力を得るための適切な人事評価の仕組みを構築

※上記を推進する組織は「一般社団法人」とする

財源のあり方

次期戦略の財源は、現在の財源(年間事業費 約5億円
官民負担2:1)を官民が継続して拠出協力する